

水稻収穫後のほ場管理について

発信日：2026 年 10 月 21 日

収穫後の水田管理が、資材コストおよび環境負荷低減、高品質米の安定生産に繋がります。今後に向けて次の対策を行ってください。

1 土づくり

(1) 秋耕について

秋耕には次のような効果が期待できます。

① 害虫リスク軽減

⇒ 斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカなどの越冬虫数を抑制

② 地力向上（品質向上、高温障害対策）

⇒ 稲わらの腐熟促進

③ 獣害発生リスク低減

⇒ ひこばえのすき込みによるイノシシやシカなどの獣害のリスク低減

④ メタンガスの発生抑制

秋耕とは稲刈りが終了後、秋の間に耕うんを行い、稲わらや稲株等をすき込むことを指します。稲刈り後、早期に実施しましょう。また、土壌診断を併せて行い、水田の養分の状況を把握するようにしましょう。土壌診断の詳細については最寄りの JA までご相談ください。

(2) 堆肥について

堆肥を施用することにより、資材コストの低減、地力の向上（品質向上、高温障害対策）が期待できます。水田に堆肥を施用する場合の基準は下表のとおりです。

表 1. 堆肥の基準施肥量（10a 当たり） ※ 神奈川県作物別施肥基準より

	牛ふん堆肥	豚・鶏ふん堆肥
乾田	500kg～1,000kg	500kg
半湿田	500kg	300kg

施用時期は秋から冬にかけて行い、作付までに土中で分解を促進させます。ただし、湿田では水稻の根に障害を及ぼすガスが発生する恐れがあるため、堆肥の投入を行わないようにしてください。また、堆肥を施用する際には完熟した堆肥を使用するようにしましょう。

初めて施用する水田では前年の生育状況を踏まえて基肥の減肥を検討してください。

堆肥を使って減肥を行う場合は、農研機構の日本土壌インベントリー内の土壌管理アプリ集から、「有機質資材の肥効見える化アプリ（畑・水田・茶園版）」で減肥が可能な肥料成分量を予測できますので、参考にしてください。（下記リンクを参照）

神奈川県内の堆肥入手先に関しては、かながわ畜産ひろば内の「堆肥流通情報」をご参照ください。（下記リンクを参照）

2 雑草対策

雑草対策で重要なことは、埋土種子を減らすことです。除草出来ずに少しでも残草すると、数多くの種子を生産し、ほ場内に落ちて翌年以降の発生源になります（埋土種子）。

ほ場内の雑草が多いと、病虫害発生量の増加（カメムシ類や紋枯病など）やイネとの養分競合、作業効率の悪化など、様々なデメリットがあります。

雑草が増加してからでは遅いため、早期に対処していきましょう。

（1）多年生雑草「オモダカ・クログワイ」（写真1・2）

十分に防除できなかった水田では土中にある塊茎が越冬し、翌年も発生します。

冬季（12月～1月）に荒起こし（塊のままひっくり返すように掘り起こすこと）を行い、寒さにあてて、乾燥により死滅させます。



オモダカ（写真1）とクログワイ（写真2）

（2）特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」（写真3）

疑わしい雑草が見られた場合は、農業技術センターまたは最寄りのJAまでご連絡してください。

再生力が旺盛で、茎はちぎれやすく、植物体の断片や地下茎から増殖します。降霜前までに水田刈跡に適用のある非選択性除草剤を散布してから耕うんを行ってください。

対策方法の詳細は、下記リンクをご参照ください。



ナガエツルノゲイトウ（写真3）

3 病虫害対策

（1）紋枯病（写真4）

本県で紋枯病の発生が数多く確認されています。

紋枯病が発生すると収量の低下や倒伏しやすくなる等の被害が生じます。紋枯病は前年の被害株や畦畔などの感染雑草に形成された菌核が水田で越冬し、翌年も感染します。

翌年は紋枯病に適用のある箱処理剤を使用し、発生量が多いほ場は本田防除を行いましょう。



紋枯病（右）と倒伏したイネ（左）（写真4）

（2）スクミリンゴガイ

対策方法の詳細は、下記リンクをご参照ください。

① 冬季（1月～2月）にロータリー耕を行い、物理的な破碎を行うとともに、貝を厳寒期の寒風にさらしましょう。トラクターの作業速度を遅く、ロータリーの回転を速くし、土壤を細かく碎くように耕うんします。未発生ほ場への貝の持ち込みを防止するため、使用後のトラクターに付着した泥は洗浄しましょう。越冬個体が多い水口、水尻、水が溜まりやすい畦畔沿いは、ロータリーが届かないので、スコップ等を使用して貝を破碎しましょう。

② 越冬場所となる用排水路などの泥上げを行い、越冬している貝を破碎し、越冬密度を低下させましょう。泥上げは地域全体で行うと効果が高いです。

【参考】

No.	参照内容		QRコード
1	土壌管理アプリ集	農研機構日本土壌インベントリー 「有機質資材の肥効見える化アプリ（畑・水田・茶園版）」	
2	神奈川県県内の堆肥入手場所（例）	かながわ畜産ひろば「堆肥流通情報」	
3	ナガエツルノゲイトウ	農研機構 HP 「水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル」	
4	スクミリンゴガイ	農林水産省 HP スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について	

問合せ先

神奈川県農業技術センター

普及指導部 作物加工課

T E L : 0463-58-0333 内線381～384